

## 職場の安全作業研修

リスクアセスメント

# 危機評価への取り組み

みどり園では、ステーションにごみを持ち出される住民や、収集作業に従事する職員の安全性を向上するために、本年度も「リスクアセスメント」への取り組みを強化しています。

事前に危険な作業行為、危険な場所・個所を予測して、できるだけ安全性を確保するのがねらいです。「安全は時間と心のゆとりから」を本年度の職員目標に掲げ、日々の収集業務にあたっています。

6月からバックカメラを各収集車に設置したのを機会に、今一度、後方確認や適正な収集業務作業のルールを確認しあいました。

職員の話し合いを基本に、定期的に作業研修を実施することで、住民のみなさまへ安全な収集業務環境を提供したいと考えています。

みどり園プラヤード内に仮設のごみステーションを設置し、できるだけ、現場に近い状況を演出。



今回は不燃物容器を利用した「びんの収集業務」で研修しました。



各収集車ごとに、チェック項目を用意し、職員がインストラクター（指導員）となって、審査している。



仕上げ（最終段階）で運転手や助手、それぞれが講評（研修結果）をうける。



## 容器包装プラの再確認

今年度も6月1日（火）の多可町をかわきりに、加東市（滝野地域）、西脇市で各自治会ごとにステーションパトロールを実施・展開しています。各会場においては、容器包装プラの分別に関する様々な質問が出ています。

いま一度、容器包装プラの分別の基本をおさらいしておきましょう。



### まちがしやすい例

汚れているものは燃えるごみ⇒**黄色指定袋**

汚れた容器包装プラ・汚れたペットボトルは黄色の指定袋（可燃ごみ用）に入れて持ち出してください。

① チューブ類（マヨネーズ・カラシ・わさび・歯磨き）② 食用油のボトル③ とんかつソースなどの中身がとりにくい容器

容器包装以外のプラスチックごみは燃えるごみ⇒**黄色指定袋**。

バケツ・洗面器・クリーニングハンガー・洗濯ばさみ・定規・まな板・タッパー・CD・ビデオテープなど…